

充実した国際交流と海外調査

議」を開催し、両県を結ぶ道路網の整備状況等について協議、意見交換を行い、その結果を踏まえ地元選出国會議員、国等に対して、要望書を提出することとした。

また、11月定例会においては、「平成27年度鳥取県一般会計補正予算」ほか7議案について慎重に審議を行った。

その結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

加えて、新規提出の「名護市辺野古への新基地建設凍結と地方自治の尊重、国民的議論の推進を求める意見書の提出について」他1件の陳情は、国内外への基地移設を念頭に置いた国民的な議論を行うことについて、配慮すべきであるが、外交・防衛は国の専権事項であること。国と沖縄県の間で訴訟が提起されていること。の理由から「不採択」と決定した。



岡山・鳥取両県議会土木関係常任委員会合同会議

鳥取県議会では、友好提携している諸地域との地方間の国際交流に力を入れている。

今年度は、環日本海地域などへ調査のための議員派遣のほか、ブラジル・鳥取交流センター設立20周年記念式典への参加及び韓国江原道議会からの訪問団の受け入れ事業を行った。

江原道議会と鳥取県議会は、平成22年に友好交流に関する合意書を締結しており、同年から相互交流を行っている。今年度は10月に南景文議員を

団長とする訪問団が来鳥し、県立中央病院や県福祉人材センターなどを視察。また、本県議会議員との交流も行われ、地方間交流の重要性をお互いに再認識することができた。



江原道議会訪問団 意見交換

11月8日に

ブラジルサンパウロ州において、ブラジル・鳥取交流センター設立20周年記念式典が開催され、斉木議長を団長に訪問団3名が参加した。



ブラジル訪問団 記念式典

交流センターは、ブラジル鳥取県人会の活動の拠点として設立されたもので、しゃんしゃん傘踊りほか各種の講座が毎日開かれ他県に例を見ないほど活用されていた。また、今年度は県費留学・技術研修制度の創設50周年も迎えたことから、県費留学生や技術研修生のOBの皆さんとの意見交換も行い、次世代の日伯交流の効果が期待できるものとなった。

そのほか、今年度の海外調査は3地域を訪問した。

10月に、タイ、中国吉林省、11月にロシア沿海地方へ延べ12名の議員を派遣した。

タイでは、訪日観光客の動向、経済交流の状況、本県からの進出企業の活動状況、県産品の輸出の可能性などについて調査を行った。

中国吉林省では、更なる交流の推進、環日本海交流に係る中国側の拠点の今後の可能性、鳥取環境大学と吉林大学との今後の交流のあり方等を協議した。

ロシア沿海地方では、APEC後の現地情勢を把握し、経済状況や貿易の実情、今後の交流発展の可能性などについて調査を行った。



タイ訪問団 タイ・サミット・スイジ・フォーザン社調査



中国吉林省訪問団 吉林大学訪問



ロシア訪問団 ゴルチャコフ議長表敬訪問